

【午前の部】 修士論文構想発表（西洋美術史）

①9:30～10:00 軍司しずか

都市景観画におけるリアリティ——アントニオ・ロペスを中心に——

②10:00～10:30 関口詩乃

ディエゴ・ベラスケス作《ラス・メニーナス》研究史におけるミシェル・フーコーの影響

③10:30～11:00 高柳里奈

小アジアの都市ミュリナから出土した複数のテラコッタ・ニケ像の制作背景の考察

④11:00～11:30 中西晴乃

ドミニク・アングルの女性像の制作とその受容

昼休憩（11:30～12:30）

【午後の部前半】 修士論文構想発表（美学）

⑤12:30～13:00 鈴木和音

ロシアのオリエンタリズムにおける『オリエント』の表象と役割——バレエ・リュス作品《クレオパトラ》を題材に——

⑥13:00～13:30 矢ヶ崎結花

変化する美術館のふるまいと教育普及活動

⑦13:30～14:00 柳川太希

「場にいけるか、場を無視するか」——勅使河原蒼風の唱える「瞬間の連続」としてのいけばな

休憩（14:00～14:20）

【午後の部後半】 研究発表

⑧14:20～15:00 大城茉里恵

オーブリー・ビアズリーによる『サロメ』の「無関係な」挿絵：描かれた舞台の表と裏

⑨15:00～15:40 小倉健太郎

漫画映画からアニメへ——『桃太郎の海鷲』と『桃太郎 海の神兵』

⑩15:40～16:20 匂坂智昭

感性的体験とアール・ブリュット：ジョン・M・マグレガーによる、ヘンリー・ダーガー作品への「コラージュ＝ドローイング」という呼称から

⑪16:20～17:00 野城今日子

小室達 作《伊達政宗騎馬像》に託された二つの役割について——制作意図と歴史的背景の考察を通して——

⑫17:00～17:40 要真理子

「primitive」が架橋する2つのアート——アール・ブリュットと児童美術——

【懇親会】

18:00～20:00 一次会 法人棟地下一階 学生喫茶室（会費 1000 円、院生は無料）

20:30～22:30 二次会 居酒屋てん（会費 2000～3000 円予定、院生は無料）